

『梅雨の合間のひととき』

教頭 中塚 貴美恵

5月末、平年よりひと足早く梅雨入りをした東海地方。先週の金曜日は台風と線状降水帯の影響から、各地で大雨が降り大きな被害をもたらした地域もありました。この日は、警報も発令され各家庭で安全に過ごすことになりました。しかし、週末は、風が強かったものの晴天となり、天候に振り回される毎日です。暑いのか、寒いのか、何を着ようか・・・と悩んでいるのは私だけでしょうか。

そんな梅雨入りしたはずの東海地方ですが、本日は“曇り”と微妙ではありますが、昼休みを過ごすには絶好の日となりました。



昼休みになると、総務委員会の当番の生徒がボールの貸し出しをしています。たくさんの生徒＝グループがルールを守って借り、楽しく遊んでいます。グラウンドのたくさんの笑顔と笑い声にほっこりしました。

また、終了の合図とともにボールを返却にきます。系の生徒が責任をもって回収してくれています。その後、予鈴が鳴り、始業前の音楽が鳴り始める頃には、ほとんどの生徒が教室に戻っています。そして、静かに5時間目の授業が始まります。この「静」と「動」の切り替えができる蘇中生の素敵な姿にあたたかい気持ちになりました。

